

企業から相談を受ける県よろず支援拠点の
スタッフ(左側)



成功例では「に
いじ接骨院」(佐
賀市大和町)が助
言を受けてホーム
ページの内容を、
痛みを伴わない特
殊な腰痛の施術に
特化したところ、

り下げ、長所を生
かした戦略を示し
ている。調査の結
果、満足度も「約
95%」と高かった
という。

中小企業の相談窓口

「県よろず支援拠点」利用者増

多様な専門家配置 細かな解決策が好評

中小企業や小規模事業所の経営相談に無料で応じている中小企業庁の県よろず支援拠点(佐賀市鍋島町八戸溝)の利用者が増えている。経営戦略から商品開発、国際化、広報、インターネット、現場の改善、デザインまで多様な専門家10人を配置し、きめ細かな解決策を示しているのが好評という。相談者の満足度は高く、業績を大きく伸ばした企業もある。

同庁の支援拠点は全都道府県に2014年6月に開設し、県内では佐賀市の県地域産業支援センターに委託。公募で選んだコーディネーターの裁量で専門家のスタッフを構成している。県よろず支援拠点の初年度の相談件数は月平均138件だったが、本年度上半期は同164件で推移。前年度の約1・2倍で、企業側が気付きにくい課題を掘

県外も含めて患者が増え、売り上げが2割伸びた。立石善信院長(41)は「以前は肩こりや膝痛の治療も伝えようとしていたが、ホームページを変えただけで予想外の好反応があり驚いた」と話す。

他にも、夏場の宿泊客が伸び悩んでいた温泉旅館「豊洋荘」(太良町)が、冬が旬のメスの竹崎かに料理を好む常連客に絞って夏のオスのおいしさをダイレクトメールで伝えたとところ、売上高が前年同期比で約70万円増えたという。

県よろず支援拠点のコーディネーターで経営コンサルタントの今釜秀敏さん(59)は「視点を变えて改善すれば、業績が伸びる企業は少なくない。気軽に相談してほしい」と話す。県よろず支援拠点110952(34)4433。(大坪拓也)